

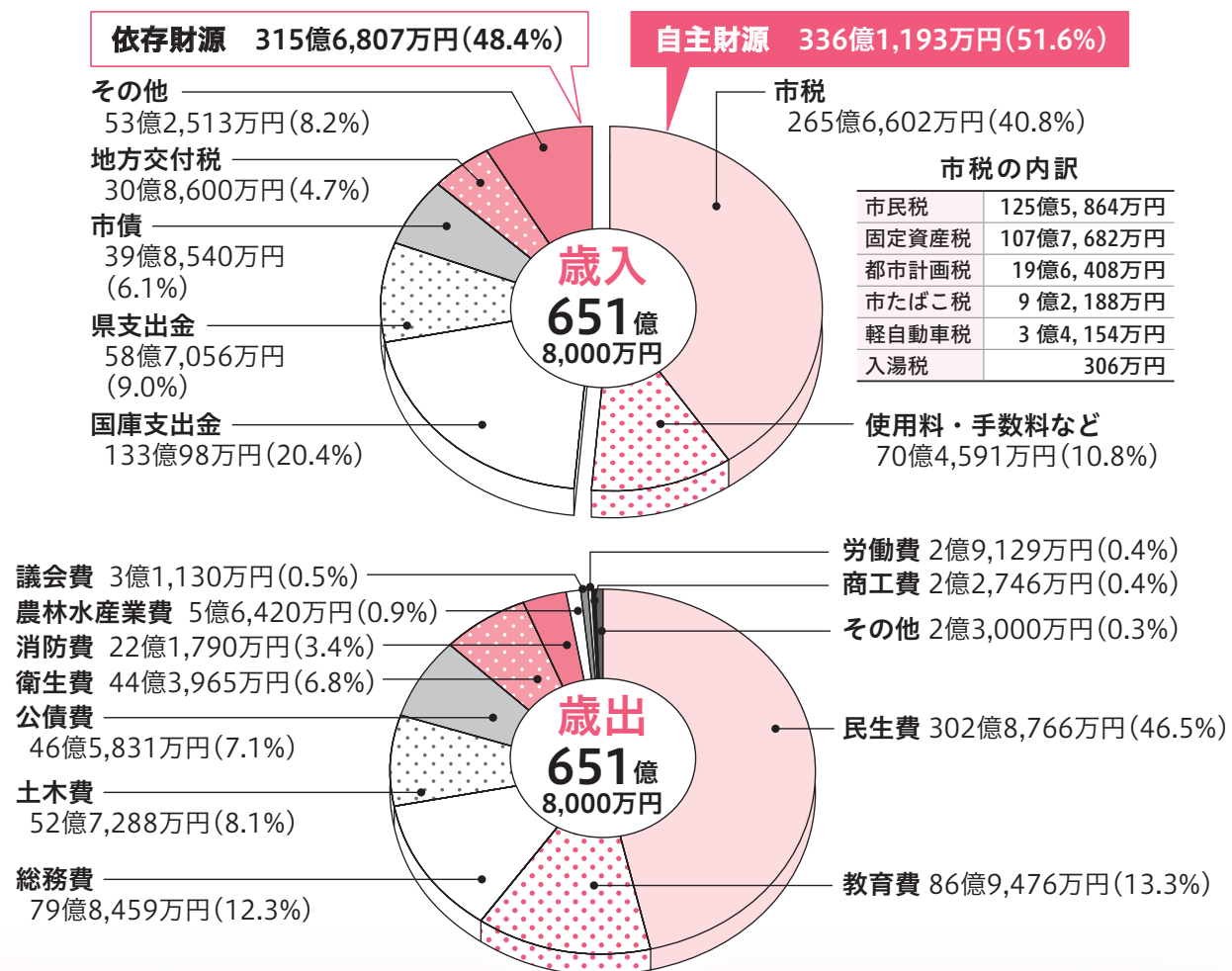
令和7年度施政方針

各会計予算規模

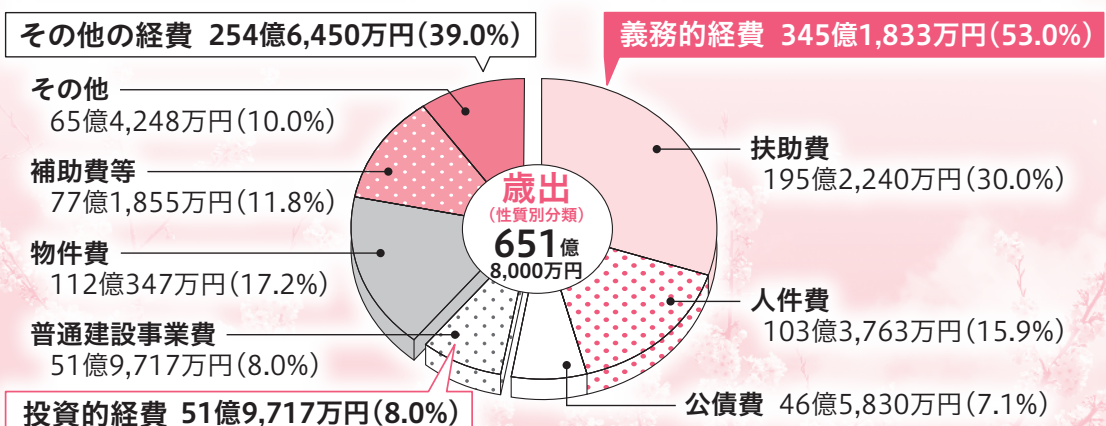
項目	予算額
一般会計	651億8,000万円 前年度比3.9%増
特別会計	356億8,820万円
合計	1,008億6,820万円

一般会計	行政の基本的な経費に対し市税などを主な財源として経理する会計
特別会計	特定の歳入を特定の支出に充てて経理する会計

※四捨五入の関係等で、値が合わない場合があります



歳出の性質別分類



「第6次草津市総合計画第2期基本計画」のリーディング・プロジェクト事業を推進するため、財源を戦略的に配分しました。新規事業や拡大事業を中心に、主な施策と概要を紹介します。

令和7年度当初予算



やっぱり草津がいい

令和7年度施政方針

2月定例会市議会が、2月27日に開会し、橋川市長が令和7年度の施政方針を述べました。その概要をお知らせします。

広報くさつ4月号に掲載している令和7年度事業の予算は、2月定例会市議会の議決をもって成立します。

問 財政課(3階) ☎561-2304、FAX561-2483

「ひと・まち・ときをつなぐ 絆をつむぐふるさと 健康創造都市草津」の実現に向けて

令和7年度は、第6次草津市総合計画の第2期基本計画の初年度となりますが、人口増加が続いている本市でも、近い将来に訪れる人口減少を見据えて、デジタル技術を活用し、行政サービスなどの向上をめざしたいと考えており、第6次草津市総合計画に掲げる、まちづくりの基本目標に基づきリーディング・プロジェクトを中心に「ずっと住み続けたい健康のまち草津」の実現に向けて、第2期基本計画の初年度にふさわしい「輝く次代を共に創りあげる」予算として編成しました。

歳入の根幹である市税は、給与所得の増加や定額減税に伴う減収の回復、堅調な宅地開発などを背景に、市税全体で増収を見込んでいます。一方、歳出では、人件費や社会保障関係経費などの義務的経費の増加や物価高への対応を行う他、第1期基本計画の4つのリーディング・プロジェクトに「DX推進プロジェクト」を新たに加えた5つのリーディング・プロジェクトを中心に、SDGsや地域幸福度(WellBeing)の視点を踏まえながら、子育てや教育、福祉に加え、都市の基盤整備など、総合計画に掲げる施策を推進します。将来にわたって持続的に発展し、健全な財政運営を維持していけるよう、市政運営を行います。

第6次 草津市総合計画 第2期基本計画

総合計画は、市が将来に向けてめざすまちづくりの方向や、それを実現するための施策などを定める、市の最上位計画です。12年間の基本構想と4年間の基本計画によって構成されます。第1期基本計画の終了に伴い、令和7～10年度の第2期基本計画を策定しました。

問 企画調整課(7階) ☎561-2320、FAX561-2489

令和3年度に策定した第6次草津市総合計画の基本構想における「ひと・まち・ときをつなぐ 絆をつむぐふるさと 健康創造都市草津」の実現に向けて、第1期基本計画では、キラリ草津や第二学校給食センターの施設整備をはじめ「子育て6つの楽だ!」などの子育て支援の充実を図り、本市の発展に向けて、また「健やかに幸せに暮らせるまち、ずっと住み続けたいまち」をめざして、職員の英知を結集し、職員とともに全力で市政運営を行ってきました。令和6年度は、市制施行70周年という節目を迎え、人口も14万人を突破し、本市が着実に発展し続けていることを実感しているところ



令和7年度施政方針

令和7年度施政方針

未来を担うこども育成プロジェクト



新規

結婚相談支援費補助金

38万円

結婚に向けて積極的に行動しようとする人を支援するために、滋賀県結婚支援センター『しが・めぐりあいサポートセンター』『しが結』の会員登録料の半額を補助します。

新規

「こども・若者の声を形に」プロジェクト推進費

80万円

令和7年度から取り組みを開始する「草津市こども・若者計画」で「こども・若者の社会参画・意見表明」を重点的な取り組みとして位置付け、こども・若者が安心して意見できる対話の場を設けます。そこで生まれたアイデアや提案を、こども・若者や市民活動団体などと協働する形で実現

地域の支え合い推進プロジェクト

継続

健幸都市づくり推進費

533万円

「健幸都市くさつ」の実現に向け、市役所庁舎内に、健康管理アプリで測定データを記録できる血圧計や体組成計を配備します。同様の機器を設置しているインフロニア草津アクアティクスセンターと連携して、デジタル技術を活用した健幸ステーションの利用促進に取り組みます。また、立命館大学との共同研究で開発した運動プログラムの動画を制作し、配信するなど、市民が健幸づくりに取り組むためのきっかけや、環境づくりを進めます。

拡大

地域まちづくりセンター整備費

7億856万円

老朽化が進んでいる地域まちづくりセンターの整備を進めます。笠縫東まちづくりセンターは、10月の供用開始に向け、令和6年度から着手している改築工事や現施設の解体工事などを行います。矢倉まちづくりセンターや山田まちづくりセンターは、令和7年度から令和8年度にかけて、改築工事や現施設の解体工事などを行います。玉川まちづくりセンターは、整備基本計画の策定を行っています。



イメージ

することで、社会全体で「こどもまんなか社会」づくりを進めます。

拡大

産前・産後支援事業費

1,702万円

乳児の健やかな成長発達を促し、妊産婦が心身の健康管理を充実させ、育児負担の軽減をめざし、多胎妊婦の超音波検査にかかる費用助成の拡大や生後1カ月の乳児にかかる健康診査の費用助成を開始します。心身の不調や育児不安を軽減するための産後ケアについて、新たに通所サービスを開始し、サービス利用料の自己負担額を3割から2割に軽減します。

拡大

待機児童対策推進費

7,537万円

安心して保育を受けられる環境の充実や待機児童の解消をめざします。民間事業者が実施する、令和8年4月に開設予定の小規模保育施設の整備の支援や、ダイレクトメールやSNS広告配信などを活用した保育士確保対策を行います。

新規

児童増加対策事業費

5,732万円

今後見込まれる児童数の増加による教室の不足を解消するため、教室の一部改修や仮設校舎の整備を行い、必要な教室数を確保します。

新規

市立プール活用事業費(水泳学習移行)

990万円

令和6年度に完成したインフロニア草津アクア

拡大

読書のまち推進事業費

1,679万円

読書活動推進の指針となる「草津市読書のまち推進計画」を策定し、地域まちづくりセンターへの読書スポットの設置や、書店と連携した読書ポイント事業、就学前施設への絵本セットの配本など、誰もが読書に親しみ、生涯にわたり学び、心豊かに過ごすことができる「読書のまち」をめざします。

継続

わたSHIGA輝く国スポ・障スポ開催費

7億2,000万円

令和7年度に「わたSHIGA輝く国スポ・障スポ」を市で開催するにあたり、滋賀県や競技団体などと連携して、スムーズな大会運営に努めます。また、市全体で国スポ開催を盛り上げるため、駅前装飾やイベント開催など、広報啓発活動に取り組みます。

■その他の事業

拡大

eスポーツ・プール介護予防事業費

326万円



にぎわい・再生プロジェクト

継続

道の駅草津リノベーション推進費

2,410万円

道の駅草津を改裝し、機能と魅力を向上させることで、農業振興につなげ、地方創生の拠点形成



イメージ

ティクスセンターを活用し、インストラクターの専門的な指導のもと、水泳学習を実施します。令和7年度は、老上小学校が対象です。

新規

教育相談体制強化費

969万円

学校問題の早期対応や解決をめざし、学校問題解決支援コーディネーターの配置、やまびこ教育相談の休日電話相談、やまびこ教室での心理士相談の開始など、相談体制・支援の充実を進めます。

拡大

給食材料費価格高騰対策事業費

4億7,168万円

食材料費が高騰している状況下でも、こどもの成長に必要な質や量が確保された給食を維持するため、公立小学校、公立・民間保育所などについて、保護者負担を増額することなく、年間を通じて食材料費の高騰相当分を支援し、さらに小学校給食は1学期分の給食費を無償化します。

中学校給食は引き続き、給食費の無償化を実施し、中学校給食をアレルギーや不登校などで長期間喫食できない生徒の保護者に、給食費相当分を給付します。



■その他の事業

新規

公立保育所等給食調理業務委託費

2,904万円

をめざします。

令和7年度は「道の駅草津リノベーション基本計画」を踏まえた「グリーンプラザからすま」の改修などの基本設計を行います。

新規

MマイICE誘致事業補助金

475万円

本市での学会や公開討論会に併せて行われる市内の観光を誘致することで、市内産業の活性化や観光振興をめざします。新たに「MマイICE誘致事業補助金」を創設し、学会などの開催にかかる費用の一部を支援します。

継続

南草津駅前広場リノベーション事業費

4,584万円

JJR南草津駅東口は、朝の通学や通勤時間帯に、学生や社会人を中心に多くの人がバスを利用していて、多いときにはバス待ちの列が駅構内までできています。他の駅利用者の通行に支障が出るなどの問題が発生しているため、既存のバスシェルター(上屋)を撤去し、幅の広いバスシェルターを設置します。

拡大 史跡草津宿本陣整備費
6,349万円

「史跡草津宿本陣整備基本計画」に基づき、老朽化が進む歴史的建物(物入)の保存修理に関する実施設計を作成して、工事に着手します。耐震工事後の開館の再開や、令和8年に迎える一般公開30周年に向けて、新たな事業を展開します。

■その他の事業

新規 草津駅周辺ウォーカブル都市検討費
989万円

暮らしの安全・安心
向上プロジェクト

拡大 防災対策費

5億9,534万円

昨年の能登半島地震を踏まえ、防災体制をさらに強化し、市民生活の安全・安心の向上をめざします。市内一斉緊急放送システムの更新や防災備蓄倉庫、資機材の整備、給水車の更新を行います。

新規 くらし見守り防犯カメラ設置事業費
(闇バイト対策) 2,016万円

SNSなどを利用して犯罪実行犯(闇バイト)を募り、詐欺や強盗などを繰り返す「トクリユウ(匿名・流動型犯罪グループ)」による犯罪が全国で相次いでいます。JR草津駅前・JR南草津駅前・主要幹線道路交差点・商業施設周辺に防犯カメラを配置して、犯罪発生未然防止や、事件が発生した場合の早期解決につなげ、安全・安心なまちづくりを実現します。

拡大 ゼロカーボンシティくさつ推進費
1億3,943万円

ゼロカーボンシティくさつの実現に向け「草津市地球温暖化対策実行計画」に基づいて、クリーンセンターでのごみ発電の余剰電力の活用、公用車への電動車(ハイブリッド車)の導入、住まいの断熱対策として遮熱カーテンの購入支援、家庭用太陽光発電設備などの導入支援、中小企業への省エネ・再エネ設備導入支援、公共施設の照明のLED化、公共施設への太陽光発電設備設置に向けた事業など、各種施策を推進します。

新規 南草津駅エスカレーター改修費
(令和6年度補正予算) 9,142万円
債務負担行為(令和8年度支出上限額) 6,320万円

老朽化が進んでいるJR南草津駅エスカレーターの一部(東口)の改修工事を実施し、安全・安心で快適な移動経路の確保を図ります。

DX推進プロジェクト

新規 証紙自動券売機キャッシュレス決済
対応費 465万円

市役所窓口での各種証明書発行などに必要な手数料の支払いに、キャッシュレス決済に対応した証紙自動券売機を導入します。

新規 公共施設予約システム導入・運営費
1,285万円

貸館業務を行っている公共施設の一部に、施設の予約システムを導入し、スマートフォンなどの

オンライン上から、予約や空き状況の確認ができるようにします。

新規 人工衛星を活用した水道管の漏水
調査費 917万円

水道管路の老朽化による漏水箇所の調査に、人工衛星の観測データ解析を活用することで、これまで発見できなかった漏水箇所を早期に見出し、修繕を行います。

行財政マネジメント等

新規 戸籍への氏名振り仮名記載対応費
5,732万円

戸籍の記載事項に、新たに氏名の振り仮名を追加する法律が整備されました。仮の振り仮名を通知し、届出のあった正しい振り仮名を戸籍に記載するための業務を委託します。

新規 アーバンデザインセンター運営・活動費
2,010万円

「アーバンデザインセンターびわこ・くさつ」を法人化し、まちづくりの主体となることで、産学公民連携を促進し、複雑化する地域課題に対応したまちの魅力創出や価値の向上をめざしたまちづくりを進めます。

すべての人を大切にすまちに

自分らしく、あなたらしく



問 人権センター
(大路二、キラリエ草津3階)
☎563-1177、FAX563-7070

「あなたの性別は何ですか？」

そう聞かれたとき、皆さんはどう答えますか？体が男だから男、体が女だから女。世の中にはそう答える人もいれば、違う答えを持つ人もいます。よく分からない、決められない、単純に答えることが難しいと感じる人もいます。

今の社会では、体の性別と異なる答えを口にするのは、まだ容易なことではありません。信じてもらえないことがあります。好きな目で見られることもあります。でも、自分にうそをつかないで生きていくこともできます。私たちは学校、職場、地域社会の中で、私たちはすでに皆さんと一緒に生きています。

これは、あるトランスジェンダー(心の性と体の性が一致していない人)の言葉です。皆さんは、この声を読んでどう思いますか。

市では、市民一人一人が人権を尊重し、多様な価値観や生き方を認め合える社会の実現をめざす「草津市パートナーシップ宣誓制度」を開始して一年が経ちました。この制度は、戸籍上の性別にとらわれず、お互いを人生のパートナーとして助け合い、協力し合って生活を共にすると約束した、一

方または双方が性的マイノリティである二人が、市長に対してパートナーシップである旨の宣誓をし、市が宣誓書受領証や宣誓書受領証カードを交付するものです。この受領証などは、提示などにより法律上の結婚と同等の効果(相続、税金の控除など)が生じるものではありませんが、この制度を通して、性の多様性や性的マイノリティへの理解が深まり、誰もが人生のパートナーと安心して暮らすことのできる社会の実現をめざしていきます。現在、パートナーシップ制度は、滋賀県内では、県をはじめ草津市、彦根市、近江八幡市、米原市、長浜市、甲賀市が導入しています。全国では昨年6月時点で459自治体が導入しているとの調査結果があります。

誰を好きになるのか、自分の性別をどう認識するのかは人それぞれです。「男性だから男性を恋愛の対象にするのはおかしい」「体が女性なのだから女性でしょ」など、自分の価値観や経験

を基にひとくくりにした見方をし、それが普通だと考えるのは間違っています。市では町内学習懇談会、啓発冊子などの人権の学びを通して、性的マイノリティへの理解は深まってきました。しかし、一方

で「自分とは関係ない」「自分の周りにはいない」という無関心な人たちの意識や言動が、当事者の人たちを苦しめています。また、性的マイノリティを笑いのネタにする「病気」「特別な人」「私たちとは違う」といったうわさや偏見など、数多くの誤った情報が飛び交い、それがいつの間にか本当のこととして広がり、信じられている例が後を絶ちません。少し立ち止まって考えることができれば、おかしいと気付くことがたくさんあるはずです。そのためには、町内学習懇談会などの人権の学びを通して、一人一人が感性を磨き、人権感覚を更新していくことが必要です。

4月は新しい出会いの月です。困っている人、悩んでいる人があるの隣にいます。あなた自身も、その人自身の姿や思いに寄り添い、誰もが自分らしく生きていける草津市を、私たち一人一人が力を合わせてつくっていきましょう。



4月2日(水)～8日(火) 発達障害啓発週間

4月2日(水) 世界自閉症啓発デー

市民の皆さんに自閉症をはじめとする発達障害について知ってもらうこと、理解してもらうことで、誰もが安心して暮らすことができる社会につながります。発達支援センターでは、発達障害の理解を深めるため、市民の

皆さんを対象に、講演会を開催する他、相談支援や障害児通所支援の支給決定、相談支援ファイルの配布などを行っています。

問 発達支援センター(西浜川二) ☎569-0353、FAX566-5144